

令和7年度 さざなみっこ保育園 評価の公表

保育者が保育の質の向上を図る目的で実施。自己評価に基づき、園全体としての評価、課題、今後の目標を検討し、保育計画・保育実践の共通理解を図り、保育がより良いものになるよう、園の自己評価として公表いたします。

園全体の評価

●今年度の評価

【行事】

- ・運動会やせいかつ発表会では、子ども達の好きな遊びや活動を取り入れながら、内容を工夫し、日々の生活や遊びの延長として楽しみながら練習に取り組むことができた。また、子ども達が主体となって行事に参加できるように努めた。
- ・親子防災教室では、地震や津波を想定し、実際に避難場所であるプラージュしあわせまで親子で避難訓練を実施した。保護者と避難経路や避難場所の確認を行うとともに、災害時における園の対応について共有することができた。本活動を通して、園と家庭が防災について共に考える機会となり、相互の防災意識の向上につながった。

【食育】

食育活動では、主に4・5歳児を中心に田植えなどの田んぼ活動や園庭の畑やプランターを活用し、しそやネギなどの栽培・収穫を行った。栽培から収穫までの過程を経験することで、生長への気づきや喜びに繋がり、収穫した食材を使ったクッキング活動等して、食への関心を高めることができた。これらの活動を通して、生活や遊びの中で主体的に食に関わる経験を積み重ね、食べることを楽しむ姿や食事を大切にする姿に繋がった。

【園内研修】

園内研修では、健康面・安全面に関する内容や子どもとの関わり方など保育に関する内容や、働きやすい職場づくりに関する内容など、多様なテーマを取り入れて実施した。園内研修を通して、職員に必要な知識及び技術の習得・維持・向上を図るとともに園全体でも共通理解を深めることに努めた。今後も職員同士が学び合う姿勢と環境を大切にしながら、園内研修の充実を図り保育の質の向上に繋げていきたい。

【園外研修】

保育の質及び専門性の向上を目的として、全職員が園外研修に参加する体制を整えた。研修で得た知識及び機能については、研修報告書の提出や園内研修での共有を行い、園全体へ周知することができた。今後も積極的に園外研修への参加を推進し、職員の専門性の向上を図るとともに、保育実践の充実に繋げていきたい。

【地域交流】

近隣園や自治会との交流や地域の高齢者施設・企業訪問、泡瀬地域のハロウィン参加、清掃活動（園の周辺や近隣の公園）などを通して、地域の方々と関わる経験を重ねることができた。さまざまな人との触れ合いの中で、人と関わる楽しさや人の役に立つ喜びを感じる姿が見られた。また、身近な施設や公園等への興味・関心が高まり、生活と地域との繋がりを実感する機会にもなったようにも感じる。次年度も地域との繋がりを大切にしながら、継続した取り組みを行っていききたい。

【小学校との連携】

近隣の小学校との連絡会では、小学校教師との意見・情報交換等を行った。また、県や市などの行政主催の「保幼小接続」「架け橋期カリキュラム」等の研修に積極的に参加した。保育園と小学校教育との円滑な接続を図ることができるように努めた。

●今年度の気づき

運動会やせいかつ発表会などの大きな行事や保育活動を通して、子ども達が主体となり参加することを意識し取り組むことができた。防災については、保護者が園の避難経路や避難場所を把握し、共有することで、防災意識の向上につながったと思う。また、地域交流では、地域との繋がりの大切さを学ぶ良い機会となった。今後も地域に根差した保育園を目指し、子ども達が地域の中で育っていくことを目標とし、万が一の災害時にも地域の方と協力しながら助け合えるよう努めていきたい。

また、保育者は子ども達が生活や遊びの中で楽しみながら学びへと繋がるよう、自ら考え工夫し、保育者としての専門性を意識することで、子どもたちの安全と安心を守り、保育実践工夫することに繋がったと思う。今後も、子どもたちの成長を見守りながら、保育者ひとり一人が日々精進できるよう、園内外の研修に積極的に参加し、保育実践に取り組んでいきたいと考える。

【総評】

保育者が自己評価を実施し、自身の保育観や園での行事等を振り返ることができた。まずは、子ども達が主体となる保育の実践や保護者や地域を巻き込んで、その中心に子ども達がいるといった関わりが持てたことは子ども達の存在価値を深めることに繋がった。

そこで、保育者は自ら考え、自分自身の保育を振り返り、保育者同士で相談し、より良い保育実践に繋げることができたと思う。また、報告・連絡・相談・確認、情報共有の重要性や、専門職としての意識を高め、園全体の保育の質の向上に取り組むことの大切さを実感し、園内外の研修における学びの場の大切さを実感することができた。今後の保育実践において、保育計画に基づき、子どもの心と身体の成長・発達、相互的な保育の充実に繋げていきたいと思う。